令和6年度研修 評価

研修名	訪問看護師育成サポート研修 全体研修② 「状態変化時のシミュレーション演習」				
領域	訪問看護	会場	新潟県青陵大学	受講料	会 員：2,200円 非会員：6,600円
対 象	第1回 募集数10人 応募数3人 参加数3人 会員3人 非会員0人 第2回 募集数10人 応募数10人 参加数8人 会員5人 非会員3人 第3回 募集数10人 応募数13人 参加数9人 会員6人 非会員3人				
日 時	令和6年10月25日(金) 12月20日(金) 令和7年2月15日(土) 9:45~15:30				
ねらい(目標)	アセスメントに基づき、適切な情報共有のための言語化ができる 1) フィジカルアセスメントの基本を理解できる 2) 状態変化時の優先順位に基づいたアセスメントができる 3) 状態変化時の適切な対応を考えることができる 4) 対象者の状態について考えたことを言語化できる				
講 師	坪川トモ子 新潟青陵大学看護学部看護学科 学部長・教授 田中 瞳 同上 准教授 浅野 仁美 同上 助教				
内容・方法	第1・3回：経験の短い看護師対象 第2回：指導的立場にある看護師等対象 講義・情報交換・演習(シミュレーション機器使用)・情報交換 30分				
結 果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; float: left; margin-right: 10px;"> 評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた)80%以上 ④アンケートの意見 </div> <p>○参加者割合 55.0% 【達成・未達成】</p> <p>○アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修目標(知識・技術)の習得度 96.9% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【達成・未達成】 <p>○受講者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態をただ見るだけでなく優先順位をつけることの難しさを学んだ。 ・状態変化時に、在宅でできること、考えなければならないことを学ぶことができた。 ・日々行っていることを言語化することの難しさ、大切さを学ぶことができた。 ・根拠をしっかりと持ち、SBARでまとめながら報告、相手にわかりやすい報告ができるようになりたい。 ・VR機器操作の難しさはあったが、研修へのマイナス意見はなかった。 				
評 価・総 括	<p>○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した・達成しなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回、第3回は訪問看護経験が短い方、第2回は指導的立場のある方で実施。それぞれの研修目的を達成でき、現場にすぐ活用できたため、達成。 <p>○総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通算3回の研修案内を10/7に出したため、第1回の応募者が少なかった。第2・3回の応募は順調にあり、関心の高い研修と考える。早期に調整および研修案内が必要。 ・第1回は3人で実施したが、少人数なりにお互いコミュニケーションが取ることができ、意見交換も活発行うことができた。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回は感染症流行期に入り、前日キャンセルが2人。第3回に受講できるように配慮した。 ・訪問看護師の不安として一人で訪問し、判断しなければならないことが挙げられる。この研修はその不安軽減の一助になると考え、継続が必要。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修周知を早期に実施する。 ・新規開設施設を含め、受講施設が増えるよう研修成果を広報する。
担当者	訪問看護推進課